

令和3年度スポーツ庁委託事業
障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツ用具活用促進事業)

グロップサンセリテWORLD-AC
委託事業成果報告書

株式会社グロップサンセリテ

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、(株)グロップサンセリテが実施した「令和3年度スポーツ庁委託事業 障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツ用具活用促進事業）」の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

1. はじめに

2016年3月に、日本でも稀なパラスポーツの実業団チームを岡山の地に発足しました。グロップサンセリテ WORLD-AC（ワールドアスリートクラブ）は、「岡山から世界へ！！」を合言葉に、パラスポーツ選手を雇用・育成し、パラスポーツを通じて、地域社会に貢献していくことを目的としています。

そして、パラスポーツの素晴らしさを発信し普及させるため、国内外のさまざまな大会に出場し、結果（メダル獲得）を残すことを目標としています。

またセカンドチームである WORLD-second は、WORLD-AC の成長と共に、よりスポーツを身近に、そして本来スポーツが持つ楽しさや、共に励まし合いながら目標を達成し、自己の成長を促してほしいという想いにより発足しました。

勝利する事だけがスポーツではありません。スポーツを通じて精神も肉体も健全である事こそ、最も大事な事かもしれません。トップチームを目指すのも良い、それぞれの目標を目指すのも良い、全てのパラスポーツを WORLD-second は応援しています。

WORLD-AC 設立以来、その活動の一環として、スポーツ用車いすの体験会、各種講演、イベント等にも参加し、スポーツを通じた共生社会の実現への一助になればと活動してきました。更なる活動の場を模索していた中で、この度、岡山県職員の方から令和3年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツ用具活用促進事業）」の情報をいただき、参画させていただくことに致しました。

本事業実施においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止を余儀なくされたケースもございましたが、岡山県下の特別支援学校1校、小学校1校、中学校1校、イベント開場で1回の用具活用促進会を開催することが出来ました。開催できた各所からは、様々な喜びの声が届いたことは大変嬉しい反響でした。

また開催に向かうにあたり、岡山県教育委員会・障害福祉課や関係各所の皆様、また岡山市教育委員会・スポーツ振興課・障害福祉課や関係各所の皆様に、ご尽力いただきましたこと心より御礼申し上げます。

今後の活動についても、地域の皆さまとリレーションを図り活動を促進して参ります。

誰もが気軽にスポーツを楽しめる未来へ！！

株式会社グロップサンセリテ
パラスポーツチーム WORLD-AC
マネージャー 沖 慎二郎

2. 事業の目的

用具活用推進会（スポーツ用車いす体験会）を通じて、以下の3つを実現する。

- ①車いすユーザーへパラスポーツに興味を持つきっかけを作る。また、パラスポーツに取り組める環境（指導・用具等の貸し出し等）が岡山県内にあることを伝える。

- ②全参加者に対して、スポーツの素晴らしさ、夢を持つことの大切さを伝える。

- ③本事業で制作したスポーツ用車いす（レーサー）を、体験会終了後も継続して無償で貸し出すプラットフォームを整備して、事業終了後も地域のパラスポーツ発展に寄与する。

3. 用具活用促進会などの参加募集告知

チラシ配布



岡山県下の小・中・高・特別支援学校に配布し、用具の活用促進会の参加を促しました。

小学校	: 384校
中学校	: 155校
高等学校	: 52校
特別支援学校	: 15校

※岡山県、岡山市が全面的にご協力くださいました。

チームHPに掲載 チームHP : <http://www.world-ac.jp/>

TOPページ



ここをクリック



チームHPにも掲載を行い、より広い方々を対象に事業開始やプラット化のPRを行いました。

チームHPは、10月~3月の掲載で、40,000件を超えるアクセスをいただいています。

4. 用具活用促進会について

講師：松永 仁志選手兼監督

北京・ロンドン・リオ3大会連続
パラリンピック出場

https://www.world-ac.jp/member/h_matsunaga/



講師：生馬 知季選手

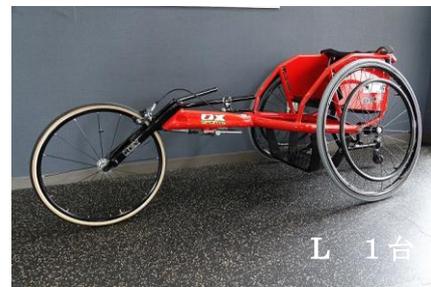
東京パラリンピック出場

https://www.world-ac.jp/member/t_ikoma/



上記2選手とスタッフが訪問し、スポーツ用車いす体験会を実施しました。

用具活用促進会の開催や、令和4年度以降のプラットフォーム化を見据えて、
スポーツ用車いす体験用5台（S 2台、M 2台、L 1台）、競技用2台を製作しました。



5. 実施報告

実施計画 取組内容

- 1) 車いすユーザーの在籍する岡山県内の小・中・高校（特別支援学校含む）から3校選定し、パラアスリートによる車いす陸上の用具活用促進会を開催した。

【用具活用促進会①】岡山県立岡山東支援学校

令和3年12月7日（火） 1部：10時00分～10時30分
2部：10時40分～11時30分

チーム HP 各種活動：<https://www.world-ac.jp/activity/8195>

◎用具活用促進会内容

- ・選手の技術披露
- ・児童のスポーツ用車いすの体験
- ・選手からのメッセージ
- ・選手と記念撮影

体験者人数
55名



【用具活用推進会②】美作市立作東中学校

令和3年12月13日（月） 13時55分～15時45分

チーム HP 各種活動：<https://www.world-ac.jp/activity/8322>

◎用具活用促進会内容

- ・選手の技術披露
- ・生徒のスポーツ用車いすの体験
- ・生馬選手にチャレンジ（代表児童と生馬選手の競争）
- ・選手からのメッセージ
- ・選手と記念撮影



体験者人数
37名



【用具活用推進会③】 総社市立常盤小学校

令和4年1月18日（火） 1部： 9時25分～10時20分
2部： 10時25分～11時20分

チーム HP 各種活動：<https://www.world-ac.jp/activity/8496>

◎用具活用促進会内容

- ・選手の技術披露
- ・児童のスポーツ用車いすの体験
- ・生馬選手にチャレンジ（代表児童と生馬選手の競争）
- ・選手からのメッセージ
- ・選手と記念撮影



体験者人数
146名



2) 用具活用推進会選定校以外からのニーズについては、都度スケジュール調整を行い事務所兼トレーニングスペース、または岡山県総合グランド陸上競技場（サブグランド）等で、用具活用の場を提供する。

【用具活用の場①】津山市立一宮小学校

(中止) 令和4年1月25日(火) 13時45分～15時25分

用具活用体験会のご希望があり訪問が決定したが、オミクロン株の影響により、岡山県下にまん延防止等重点措置が適用され中止となる。

※次年度に用具活用促進会を調整し同校を訪問予定。

他の学校からはご希望がなく、その他の手段で用具活用の場を提供していくことにしました。

【用具活用の場②】「ハートフルそうじゃ」（障がい福祉フォーラム）

令和3年12月4日(土) 13時30分～15時00分

チーム HP 各種活動：<https://www.world-ac.jp/activity/7920>

※パラ卓球の井上全悠選手にも、体験していただきました。



体験者人数
15名



【用具活用③】ユニバーサルデザインセミナー

主催：岡山県、NPO 法人まちづくり推進機構岡山

令和4年2月14日（月） 14時00分～15時30分

※当セミナーにおいて、用具活用促進会の場を創出していただきましたが、オミクロン株の影響により、用具活用促進会は中止となり、セミナー講師のみの対応となりました。

【用具活用④】岡山県スポーツフェスティバル

（中止）令和4年3月5日（土）6日（日）

※スポーツフェスティバルにおいて、用具活用促進会の場を創出していただきましたが、オミクロン株の影響により中止となりました。

その他の用具活用の場を模索しましたが、オミクロン株の影響により、さまざまな大会・イベントが中止となり、これ以上の用具活用の場の創出を行うことはできませんでした。

参 考

令和3年10月20日（水）

おかやま障害者ワークフォーラム 2021 において、来場者 50 名に本事業のチラシを配布し、本事業の取り組みを紹介した。

チーム HP 各種活動：

<https://www.world-ac.jp/activity/7870>



令和3年10月23日（土）

医療福祉を学ぶ「川崎医療福祉大学 生徒7名（男性3名、女性4名）」に、WORLD-AC トレーニングスペースでスポーツ用車いす体験会を行った。



令和3年12月3日（金）

グループ企業内従業員（女性3名）に対して、スポーツ用車いす体験会を行った。



3) 岡山県障害者スポーツ教室 車いす陸上（令和3年10月3日予定）と連携して、用具活用促進の場を増やす。

（中止）

岡山県の協力により、令和3年10月3日に車いす陸上教室の場で、用具活用促進の場を創出いただくが、コロナ禍により中止となる。

その後、令和4年2月20日に再調整をしていただいたが、オミクロン株の影響により、岡山県下にまん延防止等重点措置が適用され、今年度は中止となる。

次年度に、用具活用促進の場を創出していきたい。

6. 事業の成果と課題

【 成 果 】

2.体験会は楽しかったですか

97%

※5段階評価で5・4の割合

4.また体験してみたいですか

94%

※5段階評価で5・4の割合

3.興味を持つきっかけになったか

86%

※5段階評価で5・4の割合

5.今後も体験会が必要な方

96%

※必要と回答した割合

3校、1イベントで総勢 253名の方にスポーツ車いすを体験していただきました。

体験いただいた皆さま全てがスポーツに興味がある訳ではなく、且つ多くの方がスポーツ用車いすを実際に初めて目にされ、初めて乗った方々が殆どでした。その中で、上記評価をいただいたことは、大きな成果であると考えています。

アンケート中の「今後も体験会が必要か？」という問いに、“不要・普通・未回答”の方も数名いましたが、コメント欄には「楽しかった」など良い評価をしていただいた方もいました。

岡山県、岡山市の関係各所や学校・特別支援学校等との連携は、プラットフォーム化を行っていく上でも、地域の大きな財産になっていくと思います。

また今回製作させていただいた、スポーツ用車いすについても、地域の財産として活用し、パラスポーツの普及・発展に寄与していきたいと考えています。

【 課 題 】

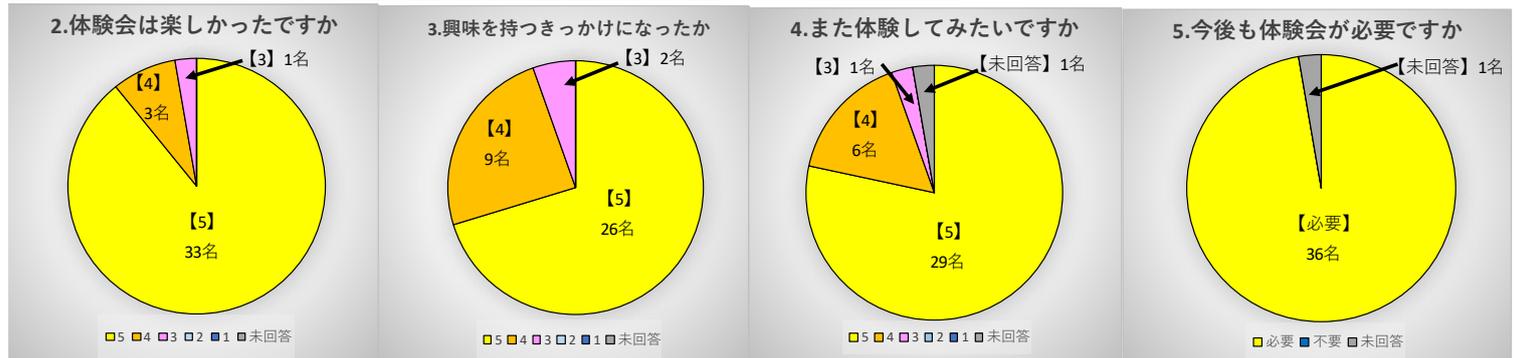
オミクロン株の影響を受けて、残念ながら中止を余儀なくされた機会（場）については、来年度に可能な限り実施していく予定です。

またオンラインでの開催なども検討はさせていただきましたが、体験会・パラアスリートのふれあいという性質上など総合的に勘案して実施は見送らせていただきました。

令和3年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」

障害者スポーツ用具活用促進事業 用具活用促進会(体験会)アンケート結果

岡山県立岡山東支援学校	※5段階評価					実施日：2021年12月7日
2.体験会は楽しかったですか	楽しかった 5	4	どちらでもない 3	2	楽しなかった 1	未回答
	33	3	1	0	0	0
3.パラスポーツに興味を持つきっかけになりましたか	なった 5	4	どちらでもない 3	2	ならなかった 1	未回答
	26	9	2	0	0	0
4.また体験してみたいですか	やってみたい 5	4	どちらでもない 3	2	やりたくない 1	未回答
	29	6	1	0	0	1
5.今後も今回の様な体験会が必要ですか	必要	不要	未回答			
	36	0	1			



【学校からのコメント】

参加したある生徒は「スポーツの選手になったようでとてもうれしかった」と幸せそうに教えてくれました。日々の学校生活では絶対にできない貴重な体験をしたことで、これからも色々なことに前向きにチャレンジしてくれと信じています。先生方からも「子どもたちも、我々大人も元気になれるとてもよい時間でした」とのお言葉をいただきました。今回、密を避ける等で参加することができなかった子どもたちも、是非、来年度体験会ができればと思います。今回経験させていただいた肢体不自由部門の教員が、体育の授業で、また、乗車体験できたらいいなども、話していました。来年度、相談させていただきます。

【アンケート質問】

- 今後も障害者スポーツ(パラスポーツ)を知ってもらうために今回のような体験会が必要だと思われますか？また理由などありましたらお聞かせください。
- 選手との関わりの中で印象に残ったことがありましたら、お聞かせください。
- 本日の体験を通じてのご意見やご感想などを、お聞かせください。

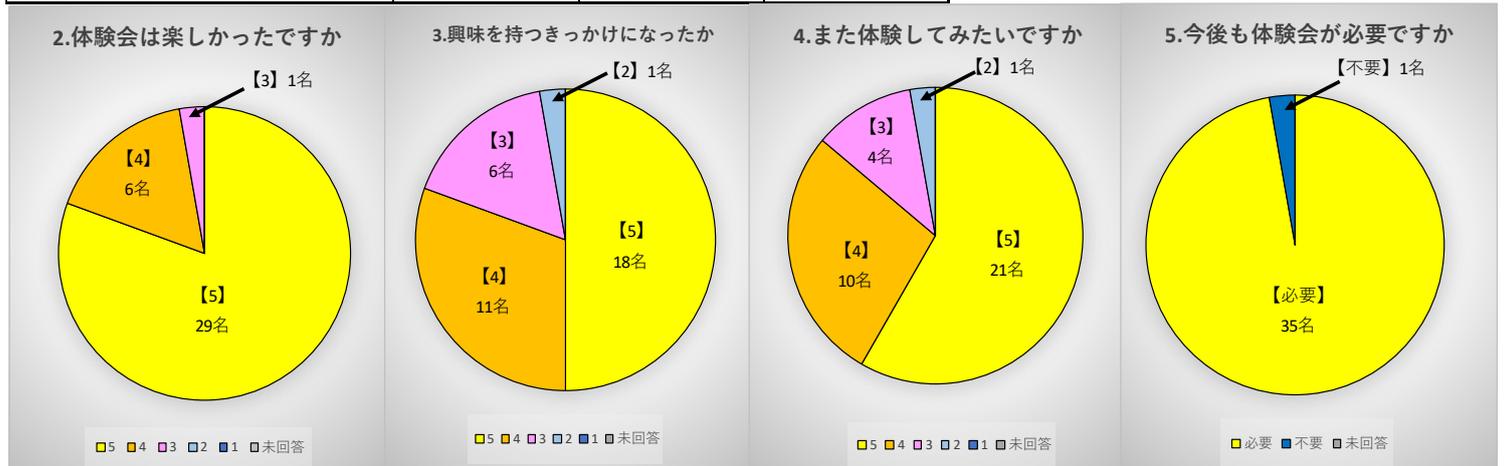
【アンケート抜粋】※原文どおり

- 5.未回答
6.びびんば(びびんばのようにバランスのとれた食事が大切というお話が印象に残りました。ほくもびんばが大好きです。)
7.もっとおはなしたい
- 5.未回答
6.速く走るためには気持ちが大事と言われたことです。
7.初めてレーサーに乗って、少し大変でしたが乗って嬉しかったです。
- 5.しないとパラスポーツをしてもらえない。
6.いっしょにレーサーをこいだこと。
7.たのしかったです。
- 5.みんなに大変さや難しさだけ練習したらうまくなれるよ みんなにスポーツというのにも興味をもってもらえるきっかけになる。
6.色々わからないことを教えてくれたりしてくれたのが印象に残っています。
7.とても楽しい特別授業になったなあと思います。
- 5.児童たちにとっては、教員の説明や学習の中だけでは実際のパラスポーツを知ったり理解するのは難しく興味をもちにくいですが、実際に選手とふれあったり、レーサーに試乗したりすることの方が、児童たちの心に残ると思うから(今回児童の発言や体験会後の様子を見てそう感じました)
6.小学部低学年の児童にもわかりやすい体験会でした。子供たちの側に来て一緒にレーサーと並んでコースを走ってくださったり、声をかけてくださったり、とても優しく接して下さり、選手のみなさんを身近に感じることができました。
7.帰宅後車いすのカタログを見て、試乗したレーサーを見つ「これが欲しい！」と言っていました。今回の体験が今後体を動かすことへの気持ちのきっかけになったようです。(保護者談)
選手の方々のお話は、教員の私にとっても心に響きました。(足が動かないなら動くところ(手)を使えばいい...)肢体不自由の子供たちにもそういった強い気持ちをもって前向きに生きていけるようになってほしいなあと思いました。
- 5.いろいろなことを体験を通して学ぶ子どもたちにとっては、とても貴重な機会だと思います。
6.選手の方が子ども達に分かるような言葉や優しい態度で接して下さったこと。又、障害の程度が重い、軽いにかかわらず、乗車体験の支援を下さったこと。
7.子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。レーサーに興味感心をもった子供たちも多勢いました。このような機会をいただきありがとうございます。
- 5.自分からは言葉での意思表示が難しい児童が選手の方を見て説明を聞いて表情や体の動きなど進んで思いを表していました。また、レーサーに乗せてもらったときに自分からハンドルの方へ体を傾けて手を伸ばし何となく前に進もうと、前後に体を動かしていた児童もいました。普段は見られない動きだったので驚きました。
6.5で書かせてもらった子どもたちにも穏やかに優しくかわってくださったので、子どもたちも喜んでいました。表情や選手の方々をじっと見つめている様子からもよくわかりました。
7.以前岡山支援学校高等部でも何度もお世話になりました。そのときは就労できるかもしれない生徒が対象でしたが、今回かわっていただいた子どもたちにもとてもよい機会だと改めて思いました。またぜひ来ていただきたいです。よろしくお願います。
- 5.個人で参加するには、情報が得にくいので、最初は学校等で行うとすのが広がっていくと思われます。
6.車いすの操作について、手をとって教えてくださっている場面は生徒にとって貴重な体験であった。
7.コロナ禍の中で外部の方とのつながりをもちにくいなか、今回の体験会はとても貴重でした。
- 5.実際にお話を聞いたり、レーサーに触れたり試乗することで、子どもたちの心に深く残ると思います。
6.ていねいに生徒たちに関ってください、とてもあたたかい雰囲気の中で活動でき子どもたちもうれしそうでした。ありがとうございました。
7.忙しい中たいへんとは思いますが、このような機会を今後も絶やさないで、広く活動を続けていっていただきたいと思ひます。応援しております。
- 5.パラリンピックの時だけではなく、もっと年に1回など定期的にパラスポーツを目にする機会があるとよい。
6.いろいろな生徒がレーサーに乗っている時、さりげなく近くに来て声をかけてくださったのがとてもうれしく、生徒たちも身近に感じることができました。ありがとうございました。
7.もう少し選手の方に話のできる時間が欲しい(生徒の実態にもよるが)

令和3年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」

障害者スポーツ用具活用促進事業 用具活用促進会(体験会)アンケート結果

美作市立作東中学校		※5段階評価			実施日：2021年12月13日	
2.体験会は楽しかったですか	楽しかった 5	4	どちらでもない 3	2	楽しなかった 1	未回答
	29	6	1	0	0	0
3.バラスポーツに興味を持つ きっかけにきっかけになりましたか	なった 5	4	どちらでもない 3	2	ならなかった 1	未回答
	18	11	6	1	0	0
4.また体験してみたいですか	やってみたい 5	4	どちらでもない 3	2	やりたくない 1	未回答
	21	10	4	1	0	0
5.今後も今回の様な体験会が必要ですか	必要	不要	未回答			
	35	1	0			



【学校からのコメント】

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
車いすユーザーの〇〇君だけでなく、参加した生徒みんながとても喜んでいました。
来年の運動会では、〇〇君がレーサーに乗って他の生徒と一緒にリレー参加することも出来るのではないかと考えたりしています。

【アンケート質問】

- 今後も障害者スポーツ(バラスポーツ)を知ってもらうために今回のような体験会が必要だと思われませんか？また理由などありましたらお聞かせください。
- 選手との関わりの中で印象に残ったことがありましたら、お聞かせください。
- 本日の体験を通じてのご意見や感想などを、お聞かせください。

【アンケート抜粋】※原文どおり

★今後も体験会が必要ですか？に不要と〇をした方のご意見。

- 未回答
- スポーツ車いすを曲がるところが難しかった。
- バラスポーツを見てこんなことがあるんなとおもいました。あと足が不自由でスポーツ用の車いすをのるのがたいへんそうとおもたけたいてたから車いすにのるのがかんたんにみえました。いい体験ができました。

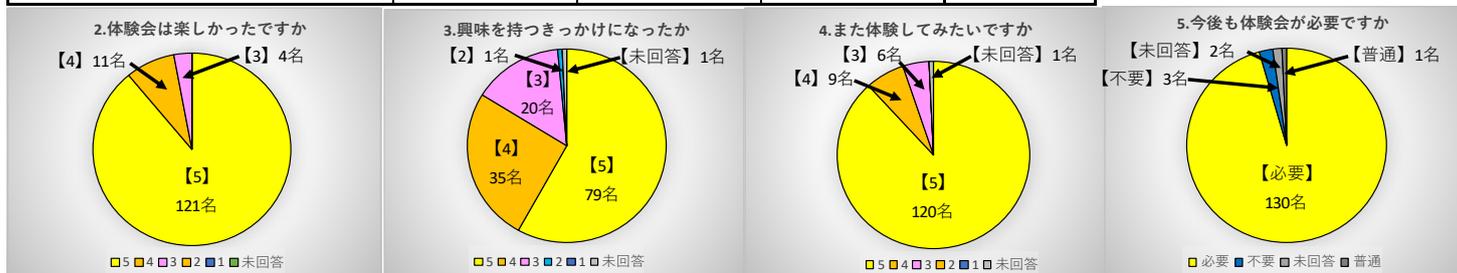
★今後も体験会が必要ですか？に必要と〇をした方のご意見。

- 障害者でもスポーツができることをたくさんの人に知ってもらいたいから。
- 実際に見ると、はく力などがとてもすごいと思った。
- 最近人と関わることが減ってきていたり、コロナ禍であまりできていなかったけど、バラスポーツに興味をもつことができました。
- メディアを通してバラスポーツを知るよりもわくわくバラスポーツの良さが伝わると思うから。
- 休けい時間に競技をする中で障害の階段をつけて、なるべく平等な選手と競えるようにしてあると教えてもらったこと。
- バラスポーツになかなか目を向けることがなかったですが、体験を通じてバラスポーツに目を向けてみようと思いました。
- 自分にふりな事があってもそれをおぎなえたいと知れるから。
- 生徒VS選手のレースが白熱した。
- さまざまなことを知れたしおぎなうことの大切さを知れた。
- まだまだ障害者の偏見が多いから。
- 足が悪い選手がいきいきと車いすで走っているのがかっこ良かった。
- 車いすで走るのがとても楽しかった。
- 未回答
- 体験会が終わったとき選手からいろいろなアドバイスをもらいました。
- またこのバラスポーツのいろいろな種目をしてみたいです。
- 実際にやってみての方が理解が深まるから。
- 未回答。
- スポーツ用車椅子のねだんが思ったより高くて驚いた。
- 障害者の方々と触れ合うのは、健全者側からしてもとてもいい体験になると思うから。
- どの選手も何から事情があり、障害を負っているのに、笑顔で楽しく活動しているのが凄かった。
- 個人的にもとても良い経験になって良かったと思う。とても楽しかった。
- 全国まわるくらい必要だと思う！
- スポーツの始めたきっかけがすごく印象強いです。
- すごく良い体験になりました。ありがとうございます。
- 障害者スポーツについて知ることで、障害者の方についてより深い考えができたと思ったから。
- 選手の方はとてもおもしろく、優しい方達だったのでこの体験をすることがとても楽しかったです。
- 最後の競走するところを見て、とても車いす(レーサー)に興味をもつことができました。とても楽しい時間でした。

令和3年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」

障害者スポーツ用具活用促進事業 用具活用促進会(体験会)アンケート結果

総社市立常盤小学校		※5段階評価				実施日：2022年1月18日	
2.体験会は楽しかったですか	楽しかった	4	どちらでもない	2	楽しくなかった	未回答	
	5 121	11	3 4	0	1 0	0	
3.パラスポーツに興味を持つきっかけにきっかけになりましたか	なった	4	どちらでもない	2	ならなかった	未回答	
	5 79	35	3 20	1	1 0	1	
4.また体験してみたいですか	やってみたい	4	どちらでもない	2	やりたくない	未回答	
	5 120	9	3 6	0	1 0	1	
5.今後も今回の様な体験会が必要ですか	必要	不要	未回答	普通			
	130	3	2	1			



【学校からのコメント】

子どもたちは、初めて見る、初めて体験するパラスポーツに目を輝かせていました。東京パラリンピックを見て、パラスポーツを身近に感じていたこのタイミングで実際に体験出来たことはとても貴重で、素晴らしい時間を過ごすことができました。今回感じたことを今後の自分の生活に何らかの形で生かすことができるとよいと思います。また、優しくご指導いただき、誠にありがとうございました。

【アンケート質問】

- 今後も障害者スポーツ(パラスポーツ)を知ってもらうために今回のような体験会が必要だと思われるか？また理由などありましたらお聞かせください。
- 選手との関わりの中で印象に残ったことがありましたら、お聞かせください。
- 本日の体験を通じてのご意見やご感想などを、お聞かせください。

【アンケート抜粋】※原文どおり

【★常盤小学校4年生 車いすを使用している児童の回答です。】
 5.車いすのついている人が、やってみたいって思う人がいるかも知れないから。
 6.生馬さんが、速いスピードで、いっていたのがすごいと思いました。
 7.松永さん、生馬さん今日はありがとうございました。自分がのっている車いすとはぜんぜんちがってびっくりしました。ふつうのは、2つタイヤがついているけど1前についてびっくりしました。ふつうの車いすとはちがうんだなと思いました。本当にありがとうございました。

5.しょうがいを持っていない人もしょうがい者の気持ちなどを知りたいから。
 6.生馬選手のレースの時、おふく回数が多いのに2人に追いつくくらいはやくて、だれが勝つのか分からなくてドキドキしました。
 7.足が不自由な人もはやく進んでみたいという思いからあの車いすがあるのかなとおもいました。

5.見るより、聞くより、じっさいにやってみた方がいいので、パラスポーツの体験は必要だと思った。
 6.選手が言われていた、「あきらめない」という言葉が印象にのこりました。(だから私もあきらめない!!!!)
 7.今回選手にあったことは初めてかもしれません！少しきんちょうしたけれど、とても楽しかったです。勉強になりました。選手からの感想の時、すこし泣きそうでした！私もうんぼりますので選手もがんばって下さい！今回はまことにありがとうございました!!!

5.未回答
 6.誰かに手つだって車いすに乗るのじゃなしに、自分の力で車いすに乗っていたこと。動画に今日のスポーツ車いす体験会でみんなしゅうをいっぱいしていることがわかった。
 7.スポーツ車いすに乗っていたときに、生馬さんが「ゆっくりでいいよ」といってくれてやりやすかったし、うれしかったです。夢を持つことは大切なんだなと思った。自分のよさをのびたいなと思ったしスポーツがきらいな私でもたのしめたいし、スポーツってすごいなと思ったからスポーツをがんばりたいです。高みをめざしてがんばりたいなと思った。

5.他の人達にもスポーツの大切さ、夢をもつことの大切さを知ってもらいたいから。
 6.スポーツのすばらしさと夢をもつことの大切さの話の聞いた時。
 7.わたしは、この体験をして、スポーツのすばらしさ、夢をもつことの大切さを体験させていただきました。前に進んでいた時になんか進んでしまい、とてもむずかしかったです。わたしは、目標があるのでたっせいで進んでいけるようになります。

5.たいけんしたほうがしないよりこんなことをしていたんだなと分かるようになるから。
 6.実さいに見せてもらったときにとてもすいすいしていたので、いつも連絡をしてこうなっているんだなと思いました。
 7.いつも練習をしているこの時間にもわざわざわたしたちのために体験をさせていただいて、本当にありがとうございました。そうさがむずかしくて、今は大会に出場できるぐらいの人も、さいしょは同じだったけどやると決めてがんばりつづけるのはすごいと思いました。ありがとうございました。

5.もっとパラスポーツをしりたい！
 6.未回答
 7.今日はパラスポーツをおしえてくれてありがとうございました。とてもいいけんができてよかったです。かえったらこんなことがあったよとお父さんとお母さんに話をしたいです。とてもおもしろくて楽しかったです。これからもどんでん岡山県でれんしゅうして金メダルをがんばってとってください。おうえんしてます。本当にありがとうございました！

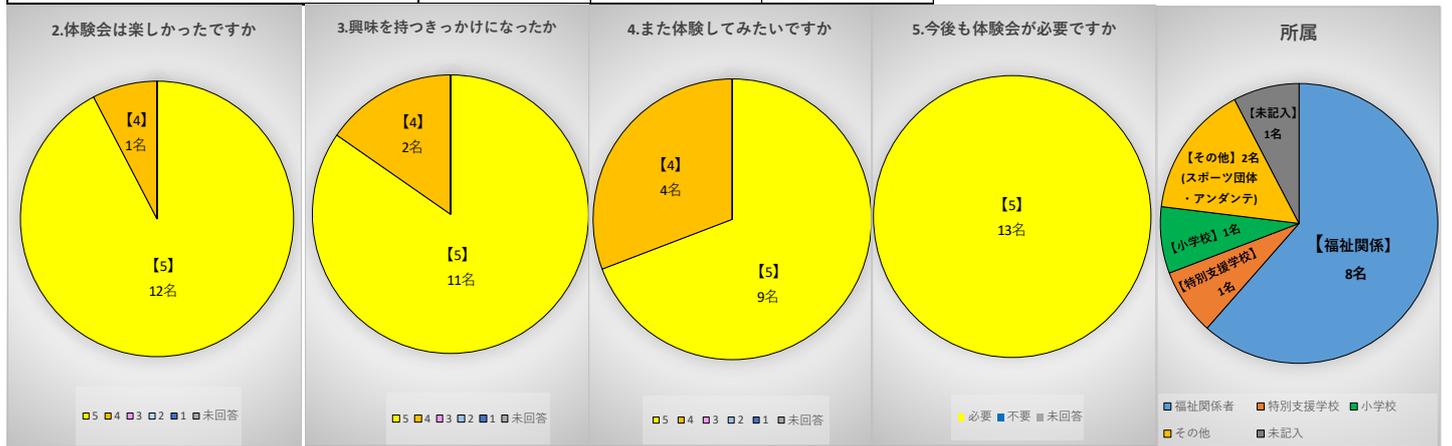
5.しょうがいがあってもこんなことができるんだよ!!という伝えたいから。
 6.スポーツのすばらしさについて学べました。
 7.大切と思ったことは、高みをめざして、おうえんライバルがいるこそスポーツが成り立つということが分かった。生馬選手が手だけで回すところを見ていると、とてもはやくなと思いました。わたしたちがきょうな体験ができて本当にうれしかったです。のるときはうまくのれました。進むのはかんたんかなと思っていただけ実さいにやってみると、回すのにもとても力がいったのでむずかしかったです。このけんけんをパラスポーツにきょうみをもりました。またテレビを見るときに生馬選手をおうえんしたいです。金メダルをがんばってください。毎日毎日トレーニングをがんばっているなんてびっくりしました。わたしが毎日毎日トレーニングをしていたら、もう死んでしまいます。けれどもみなさんは本当にすごいと思いました。しょうがいがあっても、夢をもつことがだいじだと分かりました。

5.このような体験会があると知らなかった他の物にふれたらでひつようだと思いました。
 6.東京オリンピックで、金メダルをわすれものしたということがとてもいんしゅうにのこりました。
 7.どんなことでもチャレンジしていくとげつたいどよりよはむくわれるといいたのがこころにしみました。

5.しょうがい者がかわいそうと思うけど、しょうがいの人も楽しいこともあるしできることがあるということがわかったから。
 6.きたえておくとかさかだちができたりさかだちであるけるということ。
 7.しょうがい者だからといってなんでも不自由というわけじゃない。たとえば今日松永さんや生馬さんみたいにスポーツで車いすという楽しいきょうぎがあるから、みんなはかわいそうだなと思うけどわたしはしょうがいをもっていてもたのしいことがめざしてできることがあるからなんでもみんなしょうがい者はかわいそうと思わないほうがいいなと思う。なぜかというときつけになるからです。今日けんをやってみてはじめてのたいけんだけ楽しかったしいたいけんができてよかったです。そしてゆめをもつことはたいせつそしてすめをもってライバル心をもつこともたいせつということがわかりました。もしゆめがきまらなくてもいいそがなくてよくてゆっくりしんけんにきめればいいということがわかりました。おうえんもけんの中にもたいせつということもわかりました。「共にささえあい、共に生きる」ということはたしかにそうだなあと思ってすばらしい言葉だなあと思いました。いいたいけんをさせていただきありがとうございました。

令和3年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」
 障害者スポーツ用具活用促進事業 用具活用促進会(体験会)アンケート結果

ハートフル総社		※5段階評価				実施日：2021年12月4日	
2.体験会は楽しかったですか	楽しかった 5	4	どちらでもない 3	2	楽しなかった 1	未回答	
	12	1	0	0	0	0	
3.バラスポーツに興味を持つ きっかけにきっかけになりましたか	なった 5	4	どちらでもない 3	2	ならなかった 1	未回答	
	11	2	0	0	0	0	
4.また体験してみたいですか	やってみたい 5	4	どちらでもない 3	2	やりたくない 1	未回答	
	9	4	0	0	0	0	
5.今後も今回の様な体験が必要ですか	必要	不要	未回答				
	13	0	0				



【主催者からのコメント】

当日の講演会・体験会ともに会終了後からとても好評のお言葉を頂き、大変喜ばしく感じています。参加された方や実行委員や職員も含め本当に貴重で楽しい時間となり大満足しております。さらに、今後の障害者スポーツに触れる機会を望まれる声も多く、私たちも、このご縁や機会を大切に、スポーツや余暇などについて地域で考えていけたらと思っています。また来年度もご相談させていただきます。

【アンケート質問】

- 今後も障害者スポーツ(バラスポーツ)を知ってもらうために今回のような体験が必要だと思いますか？また理由などありましたらお聞かせください。
- 選手との関わりの中で印象に残ったことがありましたら、お聞かせください。
- 本日の体験を通じてのご意見やご感想などを、お聞かせください。

【アンケート抜粋】※原文どおり

★小学校様からのご意見

- ふだんできないことができるから
- 車いすをいっしょにのったこと
- 楽しいのでまたやってください

★スポーツ団体様からのご意見

- 今までも興味がありTV等で見てきたが、実際の体験をすると気づかない多くのことが実感としてわかる。
- とみかくにも人として、優しく気づかひのできる人で、しかもアスリートとしてトレーニングをきびしくやられている心の強さを感じた。
- ぜひ多くの人(親、子ども)に体験し"障害"をスポーツきっかけで、偏見なし知り、バラスポーツをたのしめるようにしたい。

★福祉関係者様からのご意見

- TVで見ることとはあっても実際に体験すると理解が深まります。
- お2人とも大変楽しかったです。
- レース用の車いすに乗ったのは始めてだったので、貴重な経験ができました。
- 楽しみながら知っていただける機会となる。
- 心に残るメッセージありました。出きることを探していきたいと改めて思いました。
- とても良かったです。体験できる機会とても良いなと思いました。
- メディアを通してよりも実際に体験した方が魅力がより伝わるから
- パラリンピアンとプレイできるだけで胸がドキドキしました
- 貴重な体験をありがとうございました
- 選手との交流を通して障がいについて考えるきっかけになりました。車イスに乗った視界を体験し、生活を想像することができました。
- アスリートとしての姿勢は障がいの有無ではないと感じました。
- 短い時間でしたが、大変有意義な機会でした。次の機会があるとすれば、体育館や競技場などで体験・交流を深めたいと思いました。

5.未回答

- 障がいの有無にかかわらず、楽しそうにスポーツしている姿をみて、私もうれしくなりました。車いすバスケは競技としても面白いので、またみたいです。
- 講演会・体験会ともに総社に来て頂きありがとうございました。車いすスポーツはとても楽しそうだったので、また体験してみたいです。

5.実際に体験を通して、より興味もわくし、理解が深まる

- 選手の人柄に触れることができ、とても暖かい気持ちになった。改めて記録を作るすごさ、努力など尊敬の念がより強くなった。
- もっともっと一般の方と選手との触れ合いの機会をもうける場が増えれば良いと思う。

5.今回の企画を通して、体験をすることでより身近にバラスポーツを感じる事ができた。

- 競技をしている選手から直接話が聞けたり、競技について教えていただけとても親近感を持つことができた。
- これからも、バラスポーツを応援していきたいです。

★所属未記入の方からのご意見

- 未回答
- 車イス初とても乗りやすかったです。ありがとうございました。
- こんな体験皆様にしてほしいです。

7. 今後の取り組み

☆スポーツ用車いすを個人や団体に、無償で貸し出しを行うプラットフォーム化を目指します。
 今回訪問した学校からも、来年度も希望する声や、「体育の授業や福祉の総合学習で使いたい」「運動会の種目に加えることを検討したい」など、貸し出しを希望する様々な声をいただきました。

チームHPを改定 チームHP : <http://www.world-ac.jp/>

チームHPにも掲載を行い、より広い方々を対象にプラットフォーム化のPRを継続的に行っていきます。

TOPページ



NEWS

NEWS section containing several news items with dates and titles, such as '2023.03.29 第1回障害者スポーツ大会' and '2023.03.28 第1回障害者スポーツ大会'.

レース予定・結果をもっと見る | 体験活動をもっと見る | ノディア開催をもっと見る

Start from WORLD-AC section with a diagram showing the relationship between 'WORLD-AC', 'GRIP SINCERITE', 'Coaching', and 'WORLD-second'.

MEMBER

現在WORLD-ACで活躍する選手は、10人以上、100人以上の選手がいます。彼らに続き、共に戦え、そして時にはライバルでもあり、互いに切磋琢磨し合おうとします。



令和4年度以降はプラットフォーム化を目指します！

スポーツ車いすを個人・団体に無償で貸し出すための発信と受付を行う場所を WORLD-AC 内で構築して、継続してパラスポーツ普及活動を進めていきます。



本事業を大きなきっかけとして、地域の障害ある方々も気軽にスポーツを楽しめる（親しめる）環境づくりを推進していきます。

誰もが気軽にスポーツを楽しめるように！

「楽しい」を形と成果に！「好き」を本気で全力で！



これからも、地域のパラスポーツ発展に寄与していきます。